

平成26年度

創立35年



安積三小 学校だより

三しょうの丘 No.12

(承認 賞賛 奨励)

平成27年3月20日

安積第三小学校

君に あなたに

なみだをこらえて

かなしみに たえるとき

ぐちをいわずに

くるしみに たえるとき

いいわけをしないで

だまって

批判に たえるとき

怒りをおさえて

屈辱に たえるとき

あなたの眼のいろが

深くなり

いのちの根が

深くなる

(出典…相田 みつを)



祝 修・卒業

大震災から4年を経過してもなお、東京電力福島第一原子力発電所も事故収束といえる状況になく、依然として安心できる状況ではありません。

このような中、学校では、子ども達の安全を最優先に考え、子ども達のためにできる限りの教育活動を平常通りにして、そして、子ども達一人一人に寄り添ってきめ細かに対応してきました。

今年度、「目の前の子ども達一人一人の可能性を見つめ、伸ばす」という考えのもと、教職員が一丸となって教育活動に取り組んできましたが、新年度もさらに充実させていこうと考えております。

子ども達を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、教育に関する議論も活発になされ、これからの大きな方向性を見いだそうと国を挙げて取り組んでいるところですが、大切なことは目の前にいる一人一人の子ども達が幸せに生きていくために何が必要なのかをじっくりと考えることだと思います。

そこに暮らす人達の心が通い合う、楽しく豊かな地域だからこそ、子ども達もすくすくと元気に育っていくことができます。未来を担う子ども達に、魅力ある社会を残していくためにも、私達大人が住みやすく楽しい地域社会を築いていくことが大切です。本校も、これまでの伝統を守り、地域に根ざし、地域に開かれた学校を目指して教育活動を進めて参ります。多くの方々に学校に足を運んでいただき、子ども達と一緒に活動してもらえる場を広げていきたいと考えています。

最後になりましたが、本校教育活動に対する日頃からの深いご理解とご協力に心から感謝申し上げます。今後も本校教育活動推進のため、折にふれご協力ご支援くださいますようお願いいたします。

先巣立ちゆく6年生のみなさん

「実れば実るほど、頭をたるる稲穂かな」という川柳がありますが、成長し自立した人間になればなるほど、他人に対して深い思いやりと謙虚な心を持ち続けてほしいと思います。思いやりを持ち、人と接すると強い結びつきも生まれてきます。さらに謙虚な態度をとることは、人間の成長にとってとても必要なことだと思います。謙虚に他人の言葉を受け入れ、十分にかみしめて自分のものにするところに、自分の成長があります。謙虚になるところに思いやりの気持ちも生まれ、社会的な連帯感も生まれてくるものと思います。

「自立」「志」「貢献」「感謝」、そして「思いやり」「謙虚」がみなさんの長い人生の指針になれば幸いです。

学年末・学年始休業日を前に

3月24日(火)から4月5日(日)まで、13日間の休みとなります。各家庭におきまして、お子さんと一緒に1年を振り返り、進級しての新しい学年に向けて抱負を語りあう機会をつくってみてはいかがでしょうか。家族の団らんの中での話し合いが、新しい学年への飛躍・向上につながるのではないかと思います。4月6日(月)には、元気な顔で登校するのを全教職員で心待ちにしております。